

## 第2回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会

日 時 令和2年7月20日（月）午後6時30分～午後7時35分

場 所 本庁舎3階 第一会議室

出席委員 9人

委員長 渡 邊 嘉二郎 委員

副委員長 小 川 順 弘 委員

委 員 宮 坂 一 平 委員 飯 田 真奈美 委員

中 野 千 晶 委員 小 野 裕 平 委員

大 森 康 雄 委員 小 宮 貴 大 委員

天 野 建 司 委員

---

### 事務局職員

企画政策課長 梅 原 啓太郎

企画政策課企画政策係長 古 賀 誠

企画政策課企画政策係主任 前 坂 悟 史

企画政策課企画政策係 鎌 田 莉 央

---

傍 聴 者 2人

（午後6時30分開会）

◎古賀企画政策係長 ただいまから第2回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会を開催します。

私は、企画政策係長の古賀と申します。前半の部分につきましては、私のほうで進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

前回の第1回委員会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、例外的な措置として書面開催とさせていただきました。委員の皆様には、直前の書面開催の案内にもかかわらず、御協力いただきまして、ありがとうございました。

なお、書面開催とした場合ですが、決定事項については、直近の会議において追認するなど、手続を担保することとなっておりますので、前回と重複する部分もございしますが、御理解のほどよろしくお願い致します。

まず、議題に入る前ですが、委員会の運営等につきまして、4点の決定事項を報告させていただきます。本日、委員の皆様のところ参考資料ということで、A4ぺら1枚の「委員会の運営等について（決定事項）」を御覧いただければと思います。

1点目、本委員会の会議録につきましては、全文記録とさせていただきます。

2点目、本委員会は公開となります。

3点目、会議の傍聴については、「小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領」に沿って、公開とさせていただきます。

4点目、本委員会では、傍聴者の方の御意見をいただく機会を設けるため、「意見・提案シート」を導入いたします。なお、「意見・提案シート」につきましては、先ほどの決定事項の裏面になりますので、御参照いただければと思います。

以上、4点につきましては、前期の本委員会と全て同様の対応となっておりますので、よろしく申し上げます。

---

◎古賀企画政策係長 それでは、順次、議題に入らせていただきます。

初めに「議題1 委員自己紹介」を議題とします。

本日の委員会が委員の皆さんが一堂に会する初めての会議となりますので、配付資料「委員名簿」の掲載順に宮坂委員から自己紹介をお願いできればと思います。

そうしましたら、宮坂委員、よろしくお願いいたします。

◎宮坂委員 宮坂と申します。よろしくお願いいたします。小金井市に住んで50年ちょっとです。ただ、仕事の関係で海外生活が長くて、小金井市のいろいろなプランがあると思うんですが、海外の生活と比べながら、何かお役に立てるような助言ができたらと考えております。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

続きまして、飯田委員、お願いします。

◎飯田委員 飯田真奈美と申します。22歳です。1歳半から小金井市に住んでいます。何か小金井市がよい方向に行くような意見ができればと思います。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

では、小野委員、お願いします。

◎小野委員 私は、多摩信用金庫価値創造事業部の小野と申します。よろしくお願いいたします。私は、価値創造事業部の中でもまちづくり担当をしております、「広報たまちいき」という地域の魅力の情報紙を作っていたり、地域の人と人をつなげるような仕事をしております。

また、私は4月にここの部署に来たばかりで、3月までは立川市に出向しております、同じような企画政策課で会議体の運営ですとか、市長と市民の意見交換会などの運営を行ったり、行政に出向していたということもあり、今回、小金井市さんのこういった会議体に参加させていただくことになりました。少しでもお役に立てればと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

続きまして、大森委員、お願いします。

◎大森委員 皆さん、こんばんは。私は小金井市商工会から、このたび関係団体ということで出向させていただきました大森と申します。貫井南町のほうで葬祭業を営んでおまして、市民になりましたのは二十五、六年ぐらいでございますので、まだまだ小金井市の中では、いわ

ゆる来たり者でございますけれども、地域に関わってからもう30年以上でございます、いろいろな形で地域の活動をさせていただく中で、今回こちらの会議体のほうに紹介出向という形でお邪魔させていただいています。かなりボリュームのある委員会だというのは資料を見て思っていますので、その中で商工会の意見、また、私の思いというのも伝えながら、皆様と一緒に何か作り上げられれば良いなと思っていますので、よろしく願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

続きまして、小宮委員、お願いします。

◎小宮委員 小宮と申します。よろしく願いいたします。私は、労働組合の団体の役職をやっておりまして、そちらから派遣をされてきたところでございます。私もこの委員会の前段階からずっとこちらの委員会には参加させていただいておりまして、この会は皆さんの意見を非常に活発に言っていただける委員会なので、私としても非常に参考になる意見だったりとかを頂いたりすると思っておりますので、ぜひ皆様と一緒に小金井市をよくするということでお力になればと思っています。よろしく願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

続きまして、天野部長、お願いします。

◎天野委員 企画財政部長の天野です。よろしく願いいたします。新型コロナウイルスの厳しい状況の中お越しいたきまして、本当にありがとうございます。本日は皆さんのいろいろな意見を聞きたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

続きまして、小川先生、お願いします。

◎小川委員 小川順弘と申します。本務はモンゴルのマルガド大学というところで仕事をしております。何でモンゴルにいるのが小金井でと思われるかもしれませんが、小金井の学校関係の管理職で16年間お世話になりました。その関係で、また小金井のいろんなところでお手伝いをさせていただくことになりました。またどうぞよろしく願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

では、渡邊先生、お願いします。

◎渡邊委員 渡邊嘉二郎と申します。この会には、小宮さんと同じで、前々回から関わらせていただいております。職業はもうリタイアしてないんですけれども、現役時代は小金井の梶野町の法政大学理工学部に勤めていました。長いこと勤めていたものですから、名誉教授と名のついていいということで、名誉教授です。名誉でも何でもなくて、要するに、辞めた教員ということでございます。

あと、これに関連する会議で、小金井市の長期計画審議会のほうにも参加させていただいています。ひとつよろしく願いいたします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

なお、前回の委員会におきまして、委員長には渡邊委員、副委員長には小川委員に務めてい

ただくこととなっておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で議題1を終了いたします。

---

◎古賀企画政策係長 次に「議題2 事務局紹介」を議題とさせていただきます。

それでは、事務局の紹介をさせていただきます。

企画政策課長の梅原です。

◎梅原企画政策課長 梅原です。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 企画政策課主任の前坂です。

◎前坂企画政策主任 前坂です。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 企画政策課主事の鎌田です。

◎鎌田企画政策課主事 鎌田です。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 今年度につきましては、課長の梅原、前坂、鎌田と私の4人で担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で議題2を終了します。

それでは、これからの進行につきましては、渡邊委員長と交代をさせていただきます。

それでは、渡邊先生、お願いします。

---

◎渡邊委員長 分かりました。

それでは、「議題3 新型コロナウイルス感染症への対応について」、これについて議論したいと思います。

事務局より説明をお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 本委員会で御検討いただいております「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、第5次小金井市基本構想・前期基本計画との統合を見据えた作業を行っているところでございますが、先々週に締め切ったパブリックコメントにおきまして、新型コロナウイルスに関する御意見を多数頂いております。

また、6月定例会においても、議会のほうから同様の意見を頂いているところです。

参考までに、先週の金曜日に長期計画審議会を開催しておりますが、そこでは、それらの御意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染症のことを計画に入れることになってございます。

なお、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略部分につきましては、国の動きも注視する必要がございます。毎年6月に閣議決定しております基本方針についてですが、今年は例年よりも時期が遅れておきまして、7月15日に開催された会議におきまして、「まち・ひと・しごと創生基本方針2020（案）」が示されておきまして、本日、委員の皆様のお机の上に追加で配付させていただいております。

なお、こちらにつきましては、7月17日の会議におきまして閣議決定しておりますので、報告をさせていただきます。

本日、参考資料として机上配付しておりますが、それらの動向等も見ていく必要があると事務局としては考えてございます。

いずれにしても、今後の長期計画審議会や国の動きを見ながら、「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」部分を固めていきたいと考えておりますので、引き続き、御協力をお願いいたします。

事務局からの説明は以上になります。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

当委員会は、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」に基づいた委員会であります。この下で、ここで何を審議するかということの、言わば制約というのか、縛りがございまして、今日突然ですから、これを読む時間もないので、これから勉強ということだと思っておりますけれども、今の事務局からの説明で何か御質問がございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

先週の金曜日に長期計画審議会があり、新型コロナウイルス感染症対応というのか、今、感染症が起きていることの対応、それから、これが終わった後というのか、ウィズコロナというのか、アフターコロナというのか、ポストコロナというのか、そういうときにどうすべきかという幾つかの、現在、これからのことということで議論を進めていくということだと思っておりますけれども、どうも国の方針で見ると、コロナが収束した後における総合戦略ということを考えているみたいであります。そういう視点で議論していただければよろしいかと思っておりますけれども、私の説明で間違いはないですか。

◎古賀企画政策係長 はい。

◎渡邊委員長 何か御質問があれば、お願いいたします。

(「なし」の声あり)

◎渡邊委員長 それでは、以上で議題3を終了します。

---

◎渡邊委員長 それでは、次の「議題4 小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るパブリックコメントの実施結果について」ということで、説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 それでは、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るパブリックコメントの実施結果について、報告をさせていただきます。

資料1「小金井市しあわせプラン（案・抜粋）等」を御覧ください。

前回の委員会におきまして御確認いただいた小金井市しあわせプラン（案）内に含まれる小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及びパブリックコメント実施の際の募集要項になります。

令和2年6月1日から7月10日までの期間でパブリックコメントを実施したところ、本資料部分に特化した御意見が1件ございました。

あわせて、資料1-2「第5次小金井市基本構想・前期基本計画（案）」に対する意見及び

検討結果について（案）を御覧ください。

最終ページになりますが、左側が今回のパブリックコメントで寄せられた意見、右側が意見に対する検討結果となっております。

なお、この検討結果につきましては、パブリックコメントの実施主体が長期計画審議会となりますので、この委員会からの検討結果の報告を受けた上での文章となっております。

本日は、この内容を御確認いただきまして、回答を確定させる必要がございます。なお、この場で結論が出ない場合でも御意見はお出しいただきまして、最終的には委員長一任という形で最終決定をさせていただきたいと思っております。

説明は以上です。

◎**渡邊委員長** パブリックコメントについて、長期計画審議会及びまち・ひと・しごと総合戦略に関わる部分ということで、このまち・ひと・しごとに関わるところが、資料1-2の3枚目、寄せられた意見、意見に対する検討結果ということで、1つは、新型コロナウイルス感染症についてということで、回答みたいになっています。

それから、基本構想、基本計画、環境と都市基盤、地域と経済、子どもと教育、まち・ひと・しごと創生戦略ということについて、ここにあるようなコメントと、それに対する回答が出ています。私自身は読ませていただいて、こんなものかなと思ったんですけども、もし御意見があれば伺いたいと思います。突然ですので、今日はなかなかという方がいれば、市のほうに何か連絡していただいても結構ですけども、もし今あれば。

何か議論のポイントとなるようなことはありますか。

◎**古賀企画政策係長** こちらは事務局の案ということで文章を作らせていただいているんですが、長期計画審議会のほうでも、第5次基本構想で基本計画のところ、やはり新型コロナウイルスの関係の御意見を多数頂いております、それに準じるような形で表現にさせていただいているところではございますが、当然、まち・ひと・しごと創生総合戦略部分に関しましては、この審議会の中で最終的には御意見をまとめていく形となりますので、長期計画審議会に準じるということであれば、こちらをベースにお考えいただければと思いますし、また、この部分については、この審議会の中で御判断いただく部分になりますので、また何かオリジナルの文章を作られるということであれば、これとは全く別に考えていただいても構わないというふうに考えております。

◎**渡邊委員長** この、まち・ひと・しごとに関して言えば、これらについて検討しますということで原案を作ってもらっているの、これで問題ないんじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

◎**大森委員** 委員長、ちょっといいですか。

◎**渡邊委員長** お願いします。

◎**大森委員** この文章に関しては、これでよろしいと思うんです。やっていく中で検討しようということ。ただ、多分もともと乗客数に関しては、当然、人口を増加させたいとか、

流入人口、要は、小金井に何かしら観光も含めて人が来てもらえるようなことを考えて、それでまち・ひと・しごと創生総合戦略の中でこの数字が出てきたと思うんです。

今どうしてもコロナの中で、ここに書いてあるような減少傾向には当然あるとは思いますが、アフターコロナに関して、やはり互いに後ろ向きにどんどんしていくというのは決してよくないでしょうし、地方と都内と多摩地域というところの地域加減もあると思うので、あまり表現として後ろ向きにならない方向に考えていかなきゃいけないのかなということだけは、さっきのコロナ対応に関してもそうなんです。

なぜこのような話をさせていただくかという、我々は地域事業者の商工会の会員でもあるんですけども、やはり非常に厳しい状況が続いておりまして、このままだと本当に個店がどんどん廃業に追い込まれるような状況になりますから、現時点でも増えていますから、ちょっと控えようというところはあると思うんですが、それが当たり前になってしまって、地域のいろんな産業がおかしくならないように施策は考えていかなきゃいけないのかなと思いますので、そういうことを今後御一緒に考えていけたらなということだけ意見で言わせていただいて、内容については、これでよろしいかなと思います。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。貴重な意見だと思います。

それでは、資料1-2の事務局案はこのまま行くということによろしいと思います。

では、議題4を終わりにします。

---

◎渡邊委員長 次に「議題5 『小金井市まち・ひと・しごと総合戦略』施策の効果検証について」に入りたいと思います。

これは皆さんにコメントを書いてもらったものだと思うんですけども、事務局から何かあればお願いします。

◎古賀企画政策係長 委員の皆様におかれましては、各評価シートのコメントを事前に御作成いただきまして、ありがとうございます。

なお、恐れ入りますが、資料の訂正をお願いできればと思います。全部で2点ございます。

まず、評価シート番号21の「委員会取りまとめ」のところですけども、中段のところは大学の名前が入っているかと思いますが、「東京学芸大学だけでなく、東京農工大額」の「額」の字が申し訳ございません。「学校」の「学」になりますので、そちらの修正をお願いできればと思います。

続きまして、評価シート番号33、こちらも同じく「委員会取りまとめ」のところになります。上から3行目「高齢者も介護者として機能でき、その一つが『さくら体操』と考えれる」となっていますが、「考えられる」と「ら」を追記していただければと思います。

それぞれの評価シートにつきまして、委員の皆様コメントを包含する形で委員会としてのコメントを事務局案ということでまとめさせていただいておりますので、御確認をお願いできればと思います。

説明は以上となります。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

これを全部見ると大変ですので、取りあえず小金井の魅力を発揮し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるということで、評価シート番号1から15までで何か特に、特にでもなくていいんですが、御意見があればぜひ言っていただきたいと思います。

皆さんが書かれた文章がうまくまとめられて表現されていると思いますけれども、特に何か自分としてこういうこだわりがあるということがあれば発言していただきたいと思います。

2番、3番の市街地再開発、評価シート4番の交流人口の増加、建物移転進捗率が進んでいる。それから、5番が小売業の年間商品販売額ということで、商工会の大森委員、この辺について何かございませんか。

◎大森委員 実は、この間、これについてちょっとお時間を頂いて、事務局に勉強会を開催してもらい、説明を聞きながら記入させていただいて、私も初めてだったのであれだったんですけど、事務方にも言ったんですが、感想としては、かなり広範囲になっているというのが1つ。あと、一部、別審議会がやっている事業なども上がってきているので、ここまで広範囲だとなかなか見切れないなというのが正直なところで、確かにまち・ひと・しごと創生総合戦略ということに関して言えば入ってくるんだろうけど、かなり薄い意味で入ってきているところもあるので、果たしてここまでやってくると、何かこちらでは審議会が2つかぶってくるので、ほかのベース審議会がいろいろと事業を挙げてきたものを、またこちらで入れるということで、それが正しい形なのかもしれませんが、委員会としてはかなりボリュームが出過ぎちゃって、なかなか細かいところまで目が届かないのかなという心配はちょっと感じたかなというところでしょうか。

ざっくりとこれを見させていただいて、かなり範囲が広い。広いというところも必要だとは思いますが、何か市議会議員の委員会に来たくらいのイメージがあるぐらいで、かなりボリュームがすごいなど。範囲も広いですし、これだけのものが必要だというのは分からなくはないんですが、一部審議会がかぶっている部分もあって、そこに関しては整合性はどうかになっているのかなというのはちょっと気になったところではあります。

あくまでも走り出したばかりなので、まだまだ私の理解度が足りないのは当然あるので、そこに関しては大変申し訳ないんですが、特に一発目、これを見たときに、ちょっとくらくらしたので、私のイメージではそんな感じです。

個別の事業の中で、自分が関わっているものも実はあつたりするので、なかなか評価しにくいところもあつたりするんですが、ただ、見た感じでいくと、これはすごくいいなというふうになかなか付けにくいとか、なかなか見えにくいところも多いのかなと。ちょっととがったものがもう少し何個かあってもいいのかなというふうにイメージとしては思いました。まとまらない意見で申し訳ありませんが、以上です。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

この委員会の取りまとめというのは、こういう文章でよろしいですかね。

評価シート7、観光協会のセッション数ということで、目標を大幅に上回るA評価だということで、これはよろしいと思えますが。

◎小川委員 7のところよろしいでしょうか。

◎渡邊委員長 はい。

◎小川委員 評価シート7です。私としては、いわゆるSNSの活用とかも大事だとは思ってはいるんですけども、これからは紙ベースのものも大事にしてほしいなと思っています。というのは、全ての市民がSNSを使えるわけではないということなんです。いろんな場面を見ていると、何とかにアクセスして、クラウドがどうのこうの、もうその段階で行けない人たちがたくさんいると思うので、SNSを使えて当たり前ではないというところでスタートしていかないと、幾ら発信しても届かない方たちがいるということ考えていかなきゃいけないかなとすごく感じていますので、意見を述べさせていただきました。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

今後は、ポストコロナ、アフターコロナを考えたときに、やっぱり市民が情報端末にアクセスできるような教育というか、何かそういうことをどこかで考えていかなきゃいけないんでしょうね。よろしゅうございますか。

評価シート8番、ホームページ、リンク数のことで、今、小川さんが言った紙ベースの発信。

9番、桜まつり・阿波おどり・お月見の来場者数ということで、これもコロナを受けて、今後こういう企画の在り方を少し考えなきゃいけないという格好で整理されていると思います。いかがでしょうか。

10番、市民交流センターです。

11番、はげの森美術館。これも皆さんの意見が入っているんじゃないかと思うんですけども、SNSも含めてですが、インターネット観賞みたいな、生で観るだけではなくて、そういうことも必要かなと思います。

13番、市民協働支援センターについて。年々プラスに増加しているということで、ここにあるように書いてあります。

14番、国際交流事業に参加した人数。これもこれからの対応、Zoomとかオンライン、こういうことをやるとすると、今、小川先生が指摘された、誰もがこういうのに参加できるような手だてをしながらになろうかと思えますけれども、こういう御意見があると。

15番、審議会等における公募市民の割合。ここにあるような委員の意見がまとめられています。

一応、2から15までで何かございますか。

(「なし」の声あり)

◎渡邊委員長 そうしたら、続けていいですか。

(「はい」の声あり)

◎渡邊委員長 次は16から25ということで、多様な働き方ができ、安心して結婚・出産・子育てができるまち、この下でいろんな政策が並んでいるというところでございます。

なお、保育所等の利用の申込み云々について、ここにあるような感じで入ってまいります。保育所の定員拡充に向けた取組は評価できるということで、引き続いて、質と量の向上に取り組んでいただきたい。

17番、認定こども園の設置数。学園都市小金井にふさわしいという御意見もありましたけれども、こういう格好で整理されたという形です。

18番、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会への参加ということで、小金井市にとっても非常に特色がある取組であるということで、評価できるということです。

19番、一週間における開催回数、これは冒険遊び場開催回数ということで、地域資源の有効活動の典型例だということで、こういう取りまとめになっています。

20番、推進委員会形式により放課後子ども教室を開催した件数ということで、効果的で計画的な取組がなされていることを評価したいということで、従来の取組を踏襲していきたいと思えます。

ここまでのところで何か御意見ございますか。最後にまた聞きます。

21番、東京学芸大学との学習支援に関する協働研究連携ということで、ここでは東京学芸大学との連携を深めたことから、A評価です。

22番、地域貢献活動に関わろうとしている児童生徒の割合、ボランティア活動に取り組んだ児童生徒の割合ということで、ますます個別活動の重要性が認識されということでございます。

23番、創業相談件数ということで、これはかなり長い文章で、ウィズコロナでありますけれども、東京一極集中のリスクと脆弱性が浮き彫りになったということで、今後、首都機能の分散化等々、そういうことも考えていく必要があるという御意見がここに入っています。

24番、各年度の4月1日現在の行政委員会及び審議会における女性参加の割合ということです。Dということで、ここにも女性が2人しかいないんですけれども、子育てとか、女性の意見というのは非常に重要なので、もう少し取り組んでいくほうがということです。

25番、男性職員の育児休業取得率。これはA評価になっていますけれども、これも重要ということです。

以上が、多様な働き方ができ、安心して結婚・出産・子育てできるまちということで、評価シート16から25まででございます。この中で何か、この点について特に言いたいという御意見があればお願いしたいと思います。

飯田委員、何かございますか。別に無理にとは言いませんが。

◎飯田委員 特にございません。

◎渡邊委員長 中野委員はどうですか。

◎中野委員 特にございません。

◎渡邊委員長 宮坂委員、何かありますか。

◎宮坂委員 特にないです。

◎渡邊委員長 じゃあ、一応こういうことでよろしいですかね。

(「はい」の声あり)

◎渡邊委員長 それでは、最後のくくりになると思うんですけども、時代に合った地域をつくり、安全・安心に暮らせるまちということで、評価シート27から39まで。

手すりの設置、段差解消、便器の洋式化、浴槽の取替えということで、高齢者の自立支援ということですけども、高齢化が進展する中で本当にニーズを捉えているかどうかちょっと分からないということで、ケアマネージャーの視点やアドバイスを取り入れたり、依頼のない高齢者のお宅を訪問したり、紙ベースの情報発信を積極的に推進してほしいということであります。

評価シート28番、C o C oバスの利用者数ということで、今年は特に減ったんですね。これは感染症の影響によって、人があまり出歩かなくなったということが原因になろうと思います。

評価シート29番、市内で町会・自治会等の地域組織が自主的に結成した防災組織の数ということで、これもたくさん返ってきて、ほとんど三角で、いっぱい駄目だというのがありますが、新しく結成が決まった町会があるのは評価します。町会だけじゃなくて、町の組織とかいろんな組織でよく考えたほうがいいんじゃないかという格好で、かなり長い取りまとめになっています。

評価シート30番、刑法犯の認知件数。1月から12月までの期間で、これはAということで、減少しているということでもあります。学校・PTA・地域・関係諸機関との一層の連携を図って推進していただきたいということで、他県によっては、青パトを積極的に活用、取り入れるということはどういう御意見であります。

評価シート31番、認知症サポーター数ということです。認知症サポーター養成講座受講者数ということで、これはA評価で受講者が増えてきたということでもあります。

評価シート32番、地域密着サービス事業所数ということで、いっぱい書いてありますけれども、これはあまりよくない。限られた予算の中での推進の難しさがあるけれども、地域密着サービスは介護の原点と思われ、重要なのでこれからもということですね。

評価シート33番、小金井さくら体操の参加者数ということで、これはB、A、A、A、Bということで、昨年950人から426人、これもやはり新型コロナウイルス感染症の影響ですが、ただ、この企画自身は非常に評価できる企画なので、今後も継続していただきたいと思います。

評価シート35番、スポーツ教室・スポーツ大会の参加者数ということで、昨年と同じB評価ですけども、人数はちょっと下がっているということで、オリンピックが延期になったので、さらに考えて取り組みましょうということです。

評価シート36番、高齢者いきいき活動講座の参加率ということでもあります。B、Bで94.2%から87.5%ですけれども、数値自身はあまり指標にならないと思うんですが、少しでも高齢者の生きがいへ結びつくようなコンテンツの開拓が重要であるという宮坂委員の意見も組み込まれております。

評価シート37番、ボランティアセミナーの参加者数ということで、これは大幅に減っちゃっているんですけれども、増やす方法を検討してほしいと。

評価シート38番、図書館における住民1人当たりの図書貸出冊数ということで、8冊から7.5冊ということで、ここでも図書館におけるデジタル化ということを考えてもいいのではないかという話があります。

最後、評価シート39番、公民館の平均稼働率。これはいつもBで大体同じです。事業のコンテンツを少し考えたかどうかという感想です。今年は、今回の新型コロナウイルスの影響も踏まえて、公民館の在り方を少し考えてもいいんじゃないかという話であります。

以上、時代に合った地域をつくり、安全・安心に暮らせるまちということで、評価シート27から39まででございます。何かこの件で言っておきたいということがあれば、お願いしたいと思います。

飯田委員、何かありますか。

◎飯田委員 評価シート28番、C o C oバスの利用率のところですか。こちらにも書かせていただいたんですけれども、これは市バスなので、私が言いたいことと論点がちょっとずれちゃうかもしれないんですが、高齢化ももちろんなんですが、最近、小金井市の都市化が進んでいるのに伴って、高層マンションだったりとか、若い家族世帯だったり、若い人の人口も増えていると思うんですけれども、それに伴って、通勤・通学で電車やバスを利用する方もたくさんいると思うんです。私自身、職場が西武線沿線というのもあって、東小金井駅から西武線とか京王線に接続するバスとかがないので、結構遠回りして行かなきゃいけないことが多いのにごく不便を感じています。なので、バスのルートとかを変えたりするとニーズが上がって、利用者も増えるのではないかなと思います。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

小野さん、何かありませんか。

◎小野委員 私は内容というよりも、市の皆様が取り組む姿勢という点での話になってしまっただけで、ちょっと内容とは関係ないかもしれないんですが、例えば評価シート37番。多少人数が減ってはいるんですが、内容を変えようとして取り組んだ結果、減ってしまって、そういったトライ・アンド・エラーというんですかね。すいません、私、評価的には三角にしているんですが、この内容の取組方も今後、評価の1つとして入れてもいいのかなと思っています。

戻るんですけれども、例えば、ちょっと何番だったか忘れてしまったんですが、今までとやっていることが変わってなかったりして、それは変わらないだろうなというところもあった

りしますので、内容という意味じゃなくて、取り組む姿勢をもっと向上できるような取組も、もっともっと失敗しても、失敗してもいいという言い方はあれですけど、うまく言えないんですが、プラスに働くように、現状維持じゃなくて、前向きに取り組む姿勢というのがこれから必要になってくるかなと思いますので、我々も評価する身としては、そういった点のプロセスも評価してあげるといいのかなと思います。

すいません。うまくまとまらなくて申し訳ないんですけども、以上です。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

この施策の効果検証についてということで議論いたしましたけれども、まとめ方としてはこんな感じでよろしいですかね。ということで、何か特にこの中であれば伺って、なければ、次の議題に移りたいと思いますが、よろしゅうございますか。

◎小宮委員 1点だけ、よろしいですか。

◎渡邊委員長 はい。

◎小宮委員 防災の観点で、この委員会の中であまりそぐわないかもしれないんですけども、最近、水害とか大雨、長雨が多いじゃないですか。この委員会は、あくまでも仕事とか、どちらかというと人を増やすとかという方向性の委員会なので、あまりそぐわないかもしれないんですけども、でも、何かそういう観点も実は、人口を増やしたりとか、安全だから来たいなんていう視点につながっていくんじゃないかなと思ってまして、新たな目標として入れるというのはなかなか難しいかもしれないですけども、ただ、そういうところも何かアピール。

多分、小金井って、地震が起きても地盤が固そうだし、そういう安全というか、そういうところも少しPRしてはどうかと思います。私は仕事場が調布で、今年の台風時、やはり多摩川沿いは沈んじゃっていたんですね。私、電気の仕事をやっているの、実はそこの現場を見に行くと、物すごい状態でした。本当にあっという間に長靴の上ぐらまで水が溜まっちゃって、本当にすごい状態だなと。そういう防災って、小金井は位置的なところのあれがあると思うんですが、何かそういう安全もしっかり、そういうことも考えていきながらというのが少し見えてくると、こういう総合戦略の中の1つの、また強みというのでも生かせるんじゃないかなと。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

◎小宮委員 最近の時代に合ったということで。

◎渡邊委員長 まさにこの時代、ありがとうございます。

◎小宮委員 これを作った頃は、そんなことを考えもしなかったというのが最近出てきているから、少し我々の委員会の中で修正ができるのであれば、そういうところも議論していくのも一つなのかなと。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。重要な視点かと思います。

まだあろうかと思いますが、次の議題に移らせていただきたいと思います。

---

◎渡邊委員長 次に「議題6 次回の開催日について」でございます。

事務局からの説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 次回の開催につきましては、メールにて日程調整をさせていただきまして、出席委員が一番多く見込めるところで開催をさせていただきたいと考えています。

なお、実施時期ですけれども、先ほどのまち・ひと・しごと創生基本方針や長期計画審議会の動き等々もございますので、現時点で明確にいつ頃ということはお伝えできないんですが、事務局のほうから改めてメールで開催時期等々含めて、日程調整の御案内をお送りさせていただきますので、そちらのほうで御確認をいただければと思います。

事務局からの説明は以上になります。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

今回はメールで、また事務局のほうから最も参加人数が多い日を設定していただくと。その前に国の方針が確定するとか、長期計画審議会の議論の進行状態によって日程を調整したいということでございます。よろしゅうございますね。

◎大森委員 委員長、この会議なんですけれども、これは事務方の準備ができるかどうかですが、最近はずっとZ o o mとかそういうようなもので、例えばコロナがもしも進んでしまったときのためにZ o o m開催とか、もしくは一部Z o o mで参加できる人がZ o o m参加しながら、一部来られる委員は少人数で委員会をすとか、複合的なハイブリッド委員会なんていうものの可能性というのはあるんでしょうか。これ事務方にちょっとお聞きしたいです。

◎梅原企画政策課長 Z o o m等のウェブ会議に関しましては、小金井市のほうとしましては、今、試行という形で準備を進めているところです。今後の感染拡大の状況などは分かりませんが、そういったところもよく見ながら対応を考えてまいりたいと思います。

◎大森委員 別に私自身もZ o o mが好きなわけではないんですが、ただ、そういう手法をとることで、より皆さんが参加しやすかったりとか、逆に、一部Z o o mで参加する人も、逆に来たほうが良いというお話があったように、そういうのはちょっとどうもという方は逆に集まっていたら、少人数になることで楽に会議が開けるように、密にならないようにということで、可能であるならば、そういうハイブリッドな方法も含めて御検討していただいて、それで、そのときの委員会とか社会情勢でまた事務方及び委員長等が判断していただいて、場合によってはそういう開催をとるということであれば、こちらとしても極力。書面だとどうしても、これだけばさっと送られてくると、ちょっとくらくとするので、どうしてもなかなか読み込み切れないところもありますから、ぜひ会議としては成立させていただきたいなということで、一応、意見として言わせていただきました。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。

同じような意見が長期計画審議会でも出ていました。

次回の開催については、いずれにしろ、Z o o mまでいけるかどうかは別として、連絡して、

皆さんが出られるところに設定するという事にさせていただきたいと思います。

---

◎渡邊委員長 最後「議題7 その他」ですけれども、委員のほうから、こういうことを議論してほしいとか、何かあればお願いしたいと思います。

今日はコロナの関係でなるべく短時間でまとめてやってくださいという話もございまして、物すごく取り急いだ会議になっていたと思いますが、これがなければ、ちゃんと2時間たっぷりいろいろ議論ができますから、そんなこともあったので、ちょっと急いでやったということは御容赦ください。

◎古賀企画政策係長 委員長、事務局のほうからよろしいですか。

◎渡邊委員長 はい。どうぞ。

◎古賀企画政策係長 先ほど議題1のところ、委員の自己紹介をしていただきましたが、中野委員が少し遅れてお見えになられた関係でできませんでしたので、最後、申し訳ございませんが、中野委員から自己紹介をお願いできればと思います。

◎中野委員 すいません。今日は仕事の関係で遅れてしまって、申し訳ございません。小金井市の梶野町に住んでいます中野千晶と申します。よろしく申し上げます。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。

事務局からは以上です。

◎渡邊委員長 じゃあ、これをもって、第2回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

(午後7時35分閉会)